

# 文学部教員研究活動一覧

(平成 26 年度)

## 王 安

### 著書

1. 共著『多角度・新感覚 キャンパス・ストーリー 中国語入門』好文出版2014年4月 総119頁(各課の文法項目を執筆)  
監修 于康 著者 王松・王安・欒玉・孫輝
2. 共著『佳縁漢語 中国語入門・初級テキスト』朝日出版2014年4月 総156頁  
孫樹林 王欣 楊川 王安 岡村宏章 丁雷 共著

### 論文

1. 単著「認知言語学の観点から見た中国語感情形容詞の意味特徴と機能：感情表出の場合を中心に」『国際学研究』関西学院大学国際学部・国際学研究科紀要第3巻1号 2014年4月 p83～90

### 研究発表

1. 「感情形容詞の表出機能と人称制限との関わりを探って」第31回福岡認知言語学会、2014年9月1日、西南学院大学

## 大杉 洋

### 研究発表

1. ゲーテにおけるMaßについて、日本独文学会中国四国支部研究発表会、平成26年11月15日、岡山大学。
2. 『エグモント』をめぐって——ゲーテとベートーヴェン——、プロジェクト研究

「1770年生まれの思想家・文学者・芸術家をめぐるヨーロッパ地域文化研究」、2015年3月27日、岡山大学文学部。

## 大貫 俊夫

### 研究発表

1. 「論評 松原宏之「歴史の変動、歴史家と変革」、小野寺拓也「過程的な問い、引き出されるアクチュアリティ」」岡山地方史研究会7月例会、2014年7月5日、岡山大学
2. A Reconsideration of the Cistercian Reichsvogtei: Rudolf I of Habsburg, Philip III, and the Cistercian General Chapter, International Medieval Congress 2014, 2014年7月8日、リーズ大学
3. 「中世ヨーロッパ社会の〈貧困社会〉とキリスト教修道制」2014年度岡山大学文学部プロジェクト研究「〈貧困社会〉概念とその実態に関する学際的研究」第2回研究会、2014年10月8日、岡山大学
4. 「中世修道院空間における『最後の晩餐』の具現化とその意味」西洋中世学会2014年度若手セミナー「西洋中世で読み解く『最後の晩餐』」、2014年10月18日、京都女子大学
5. 「シトー会修道院と教区教会 —シトー会士の共同体形成への関与に関する比較研

究一」2014年度西洋史研究会大会、2014年11月15日、東北大学

6. 「中世ヨーロッパの修道院における看取り—ハイスターバッハのカエサリウス『奇跡の対話』を手掛かりに」科学研究費補助金基盤研究(B)「ケアの現場と人文科学研究との協働による新たな〈老年学〉の構築」第2回研究会、2015年1月10日、岡山大学

その他(翻訳、事典項目、書評等)

1. 「回顧と展望 ヨーロッパ(中世一般)」『史学雑誌』第123編第5号、311-313頁
2. 「回顧と展望 ヨーロッパ(中世 中東欧・北欧)」『史学雑誌』第123編第5号、318-322頁
3. 「論評 松原宏之「歴史の変動、歴史家と変革」、小野寺拓也「過程的な問い、引き出されるアクチュアリティ」」『岡山地方史研究』第134号、2-7頁
4. 「ジャイルズ・コンスタブル(高山博監訳)『12世紀宗教改革：修道制の刷新と西洋中世社会』」『史苑』第75巻第2号(通巻193号)、2015年、426-433頁
5. 「新刊紹介 キャサリン・アレン・スミス著／井本响二・山下陽子訳『中世の戦争と修道院文化の形成』」『史学雑誌』第124編第2号、121-122頁

## 岡本 源太

論文

1. 「眼差しなき自然の美学に向けて——イメージ論の問題圏(二)」、『現代思想』第43巻第1号、2015年1月、143-151頁

研究発表

1. 「自己のエクリチュール——ルネサンスから偉大なる世紀へ」、シンポジウム

「嘘からでる真実——嶋中博章『太陽王時代のメモワール作者たち』と、文学表現としての歴史記述」、岡山大学(岡山)、2014年10月4日

2. 「鑑賞に抗する焼き物——ヴァレリーを読む小林秀雄」、フォーラム「土が器になるとき——備前焼の歴史と美学」、岡山大学(岡山)、2015年1月29日
3. “*Yakimono* contre la contemplation esthétique. Kobayashi Hideo lisant Paul Valéry,” Colloque International, *La céramique entre Orient et Occident. Les Bizen comme exemple*, Institut National d’Histoire de l’Art (INHA) -Galerie Colbert, Paris (France), 27 Feb. 2015.
4. “The Savage Eye and the Image of Nature : From the Anthropology of Images to the Aesthetics of Nature,” International Congress, *Occhi e sguardi nella filosofia e nelle arti*, International Research Center for Aesthetics and Art Theory (IRCA) -Università di Roma Tor Vergata, Roma (Italia), 2 Mar. 2015.

その他(翻訳、事典項目、書評等)

1. [報告]「フランチェスコ・カンパニョーラ講演会」、『REPRE——表象文化論学会ニューズレター』第22号、2014年10月
2. [書評]「ジョルジョ・アガンベン『いと高き貧しさ』(上村忠男・太田綾子訳、みすず書房、2014年)」、『週刊読書人』第3069号、2014年12月12日
3. [展評]「イメージの人類学から自然の美学へ——『イメージの力』展に寄せて」、『REAR』第33号、2014年、118-121頁
4. [翻訳] ジョルジョ・アガンベン「『天使』

への序論」岡本源太訳、『Nyx』創刊号、  
2015年、52-62頁(解題64-68頁)

Japanese *WH-ka*、DGfS ワークショップ  
*Varieties of positive polarity items*、  
2015年3月4-6日、ライプチヒ大学

## 金関 猛

### 著書

1. 『ウィーン大学生フロイト—精神分析の  
始点』(単著)、中央公論新社、全287頁、  
2015年3月

## 金子 真

### 論文

1. La coordination nue en français  
revisitée、岡山大学文学部プロジェクト  
研究報告書22『言語とコミュニケーション』2014、pp.15-38

### 研究発表

1. 「等位接続名詞+タチについての一分析  
—coordinated wholeを表すものとして」、  
国際会議『コンテキストに基づいた日本語  
の話し言葉』、2014年4月4-5日、ボル  
ドーモンテニュー大学
2. Une analyse de la coordination des noms  
nus en termes du ‘tout coordonné’、  
ワークショップ DéterminationS、2014  
年8月28-30日、ヘルシンキ大学
3. Une analyse de la coordination des  
noms nus en français en termes du ‘tout  
coordonné’、ワークショップ Le Nom  
Sans Déterminant、2014年10月2-3日、  
ピカルディー ジュール・ヴェルヌ大学
4. 『「ダレカ・ナニカ」、「AカB」と肯定極性』、  
第50回北大阪言語フォーラム (Forum  
for Linguistics Kita-Osaka) 2015年1月  
11日、みのお市民活動センター
5. Diversity of the source of positive  
polarity – with special reference to

## 栗林 裕

### 論文

1. 栗林裕「トルコ語と日本語のV+V型複合  
動詞と語形成—残された問題—」岡山大  
学文学部プロジェクト研究報告書22『言  
語とコミュニケーション』2014、pp.51-63.

### 研究発表

1. Kuribayashi, Yuu. Verb-Verb  
compounding in Turkish. Paper presented  
at 17th International Conference on  
Turkish Linguistics. (3-5 September 2014,  
Rouen, France, Université de Rouen)  
2014.
2. Kuribayashi, Y. and Z. Gençer. Türkçe  
ve Japoncada Sözcüklerin Semantik  
Farklılıkları- Ağırbaşlı ve Sıcakkanlı  
Sözcüklerinin Faktör Analizi - (トルコ  
語と日本語の語の意味の相違 — “まじ  
め” と “暖かい” を表す語の因子分析—).  
Paper presented at 17th International  
Conference on Turkish Linguistics.  
(3-5 September 2014, Rouen, France,  
Université de Rouen) 2014.
3. 栗林裕「日本語とトルコ語にみられる文  
化的語彙の意味の対照分析の試み」国立  
国語研究所 共同研究プロジェクト「日本  
語レキシコンの文法的・意味的・形態的  
特性」研究発表会 2015年2月21日 東京  
大学 駒場キャンパス
4. 栗林裕「ハラジ語—イランで話されてい  
るチュルク系言語—」 2014年度ユーラ  
シア言語研究コンソーシアム年次総会

「ユーラシア言語研究 最新の報告」2015  
年3月27日 京都大学文学研究科附属  
ユーラシア文化研究センター

## 佐々木 守俊

### 論文

1. 「密教絵画から彫刻へ—曼荼羅・図像の  
請来と彫像化—」  
伊東史朗責任編集『日本美術全集』第4巻  
密教寺院から平等院へ、小学館、2014年  
12月、183～189頁

### 研究発表

1. 「神護寺五大虚空蔵菩薩坐像再考」  
美術史学会西支部例会、2015年1月24日、  
於九州大学

## 鐸木 道剛

### 著書

1. 長塚英雄(編)『ドラマチック・ロシア in  
Japan Ⅲ 日露異色の群像30』東洋書店、  
2014年4月1日、全504頁  
執筆担当:「山下りん:ロシアでイコン(聖  
像)制作を学んだ女性画家」(72-87頁)

### 論文

1. “Icons in Japan Painted by Rin  
Yamashita: Anonymity and Materiality”,  
in *Convivium*, 1/2, 2014 (Dec), Brno,  
pp. 58-73.
2. 「古代の神像の脱魔術化: エウセビオス  
の場合」『パトリスティカー教父研究—』  
第18号、2015年3月30日、21-41頁
3. 「陽明学からキリスト教へ: 熊沢蕃山から  
竹久夢二まで」『古代・古典・伝統の発  
見/創造における表象観念と文化』(岡山  
大学文学部プロジェクト研究報告書 22)  
2015年3月31日、7-26頁

### 研究発表

1. 「聖像(エイコーン)から聖体(コルプス・  
クリスティ)へ」日仏美術学会(2014年6  
月28日、於: 京都大学)

## 高野 宏

### 論文

1. 「大田植の研究—地理学の観点から—」、  
岡山民俗、235号、2014年12月、1-14頁
2. 「岡山市北区下出石『お綱祭り』の現状・  
課題・展望」、地域地理研究、20巻2号、  
2014年12月、25-29頁

### 研究発表

1. 「大田植の研究—地理学の観点から—」、  
岡山民俗学会、2014年4月27日、岡山市  
中央公民館

## 高谷 幸

### 著書

1. 高谷幸、2015、「グローバル化のなかの  
福祉社会」宮島喬・佐藤成基・小ヶ谷千  
穂編『国際社会学』有斐閣、pp. 96-113.
2. TAKAYA Sachi, 2014, “Making  
Irregular Migrants Insecure in Japan,”  
Jiyoung Song & Alistair Cook eds.,  
*Irregular Migration and Human  
Security in East Asia*, Routledge, pp.  
23-37.

### 論文

1. 高谷幸・大曲由起子・樋口直人・鍛治致・  
稲葉奈々子、2014a、「1980年国勢調査に  
みる在日外国人の仕事」『岡山大学大学  
院社会文化科学研究科紀要』37号.
2. ———、2014b、「家族・ジェンダーか  
らみる在日外国人——1980・85年国勢  
調査分析」『岡山大学大学院社会文化科

学研究科紀要』37号.

3. ———、2015a、「2010年国勢調査にみる在日外国人の仕事」『岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要』38号.
4. ———、2015b、「2010年国勢調査にみる外国人の教育——外国人青少年の家庭背景・進学・結婚——」『岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要』38号.
5. ———、2015c、「2010年国勢調査にみる在日外国人女性の結婚と仕事・住居」『文化共生学研究』14号.

研究発表

1. TAKAYA Sachi, 2014, "Filipino wives in Japan serving as mediators in transnational civil societies," *IUAES Inter-Congress 2014*, International Conference Hall of Makuhari Messe, Makuhari, Japan, May. 16, 2014.
  2. TAKAYA Sachi, 2014, "Citizenship of Long-Term Migrant Filipino Women in Japan: Impacts of Positions in Japanese Families," *XVIII ISA World Congress of Sociology*, Pacifico Yokohama, Yokohama, Japan, July 17, 2014.
  3. TAKAYA Sachi, 2014, "Making irregular migrants vulnerable: A tangle of biopolitics and morals in Japan," *XVIII ISA World Congress of Sociology*, Pacifico Yokohama, Yokohama, Japan, July 19, 2014.
  4. 高谷幸、2014、「国勢調査にみる在日コリアンの社会経済的地位の動態——(3) 家族の変容」第87回日本社会学会大会(於:神戸大学)、2014年11月22日(土).
- その他(翻訳、事典項目、書評等)
1. 高谷幸、2015、「在日フィリピン人母子世帯の貧困」原伸子他編『大原社会問題研究所叢書 現代社会と子どもの貧困:福祉・労働の観点から』大月書店、pp. 106-108.

竹島 あゆみ

論文

1. 承認と社会——ヘーゲル市民社会論の形成と発展、岡山大学文学部紀要、第62号、2014年12月、1-18.

研究発表

1. 愛による運命との和解——初期ヘーゲル思想とヘルダーリン、岡山大学文学部プロジェクト研究、2015年3月27日、岡山大学文学部

田中 共子

論文

1. AUC-GS学習モデルに基づく日本人学生を対象とした心理教育的な異文化間教育の試み 異文化間教育41, 127-143 2015.3 田中共子
2. 韓国の学生の食生活に関する研究ノート—食のパターンと問題の認識— 文化共生学研究14, 109-117 2015.3.26 田中共子・高濱愛
3. 在日ムスリム留学生の異文化適応に関する研究の動向 岡山大学社会文化科学研究科紀要39, 153-167 2015.3 中野祥子・奥西有理・田中共子
4. 在日ムスリム留学生の社会生活上の困難 岡山大学社会文化科学研究科紀要39, 137-151 2015.3 中野祥子・奥西有理・田中共子
5. スイステーズモデルに基づくヒューマンエラーの発生と防止に関する医療安全教育の予備的試行 岡山大学社会文化科学

- 研究科紀要39, 119-135 2015.3 山本恵美子・田中共子・兵藤好美
6. Research note on recognition of medical safety by nurses using a four-layered model: Individuals, team and organization. 岡山大学文学部紀要61, 19-22 2014.7.25 Tomoko Tanaka and Yoshimi Hyodo
- 研究発表
1. Attempt of Social Skills Training for Act of Awareness From Swiss Cheese Flow Experience Game. The Asian Conference on Psychology and the Behavioral Sciences 2015, The Osaka International Convention Center, Osaka, Japan, 2015.3.28, Emiko Yamamoto, Tomoko Tanaka, Yoshimi Hyodo, Harumi Katayama and Yumie Kuwabara
2. The Influence of Social Skills and Support Promotion on the Sociocultural Adjustment of Foreign Care Workers in Japan. The Asian Conference on Psychology and the Behavioral Sciences 2015, The Osaka International Convention Center, Osaka, Japan, 2015.3.28, Kaori Hatanaka and Tomoko Tanaka
3. The Relation between Acculturation Attitudes and Depression among Japanese People in Brazil. The Asian Conference on Psychology and the Behavioral Sciences 2015, The Osaka International Convention Center, Osaka, Japan, 2015.3.28, Koyuri Sako, Tomoko Tanaka and Junghuims Lee
4. Medical safety skills of nursing students involved in and skills of taking directions and skills of transmitting directions~Extraction of the target behavior for basic nursing education. 18th East Asian Forum of Nursing Scholars, NTUH International Convention Center, Taipei, Taiwan. 2015.2.5 Emiko Yamamoto, Tomoko Tanaka, Hyodo Yoshimi, Kaori Hatanaka, Atsuko Nishida and Kumiko Yamashita
5. Examination of the influencing factors on the collaboration culture of the workplace when accepting foreign care workers in Japan. 18th East Asian Forum of Nursing Scholars, NTUH International Convention Center, Taipei, Taiwan 2015.2.5 Kaori Hatanaka and Tomoko Tanaka
6. 日中大学生における概念理解の国際比較—「競争」と「国際化」のとらえ方— 多文化関係学会 コラッセ福島、福島市 2014.11.8 奥西有理・田中共子
7. 在日外国人ケア労働者を受け入れる職場の協働文化と異文化間ケア—社会文化的適応と心理的適応の影響過程の検討— 多文化関係学会 コラッセ福島 福島市 2014.11.8 畠中香織・田中共子
8. 在日留学生の対人行動上の困難に対する日本人学生の認識 —文化アシミレーターの場面選択に向けて— 多文化関係学会 コラッセ福島 福島市 2014.11.8 田中共子・中野祥子
9. 在日留学生を対象とした文化アシミレーターの作成の試み —社会通念と開

- 放性に関する場面に焦点をあてて— 多文化関係学会 コラッセ福島、福島市 2014.11.8 中野祥子・田中共子
10. Food acculturation in Muslim Students in Japan. The 2nd Conference on Psychology and Health, Beijing, China 2014.11.28-30 Sachiko Nakano, Tomoko Tanaka and Ai Takahama
  11. 指示出し・指示受けに関する看護師の医療安全スキル —医療安全教育におけるターゲット行動の抽出— 日本健康心理学会第27回大会 沖縄科学技術大学院大学 2014.11.2 山本恵美子・田中共子・畠中香織・兵藤好美・西田敦子・山下久美子
  12. 在日外国人ケア労働者の異文化適応に及ぼす協働文化の影響 —異文化間ケアの創出基盤としての職場環境の検討— 日本健康心理学会第27回大会 沖縄科学技術大学院大学 2014.11.1 畠中香織・田中共子(優秀ポスター賞)
  13. 医療現場における安全文化測定尺度の開発と影響モデルの検討 第9回医療の質・安全学会学術集会 幕張メッセ国際会議場 2014.11.22 兵藤好美・三村由典・田中共子
  14. 指示受け・指示出しスキルがチーム医療に与える影響 第9回医療の質・安全学会学術集会 幕張メッセ国際会議場 2014.11.22 山本恵美子・田中共子・兵藤好美
  15. ゲーミングシミュレーション方式の医療安全教育としての薬剤受け渡しゲーム(ペーパー版)における反応 日本心理学会第78回大会 同志社大学 2014.9.12 田中共子・兵藤好美
  16. 公募シンポジウム：教育におけるゲーミング・シミュレーションの応用的展開を探る(3) —看護学生を対象とした試行から— 日本心理学会第78回大会 同志社大学 兵藤好美・田中共子
  17. 公募シンポジウム：教育におけるゲーミング・シミュレーションの応用的展開を探る(3) —異文化間教育における応用— 日本心理学会第78回大会 同志社大学 2014.9.11 田中共子
  18. ゲーミングシミュレーション方式の医療安全教育としての薬剤受け渡しゲーム(模擬医療場面版) 日本応用心理学会第81回大会 中京大学 2014.8.31 田中共子・兵藤好美
  19. 作業中断下における注意喚起の有用性に焦点を当てたゲーミングシミュレーション—看護学生における反応と効果— 日本応用心理学会第81回大会 中京大学 2014.8.31 兵藤好美・田中共子
  20. 公募交流集会3 看護研究・看護実践への健康心理学の活用「健康心理学の特徴—健康心理学の立場から—」日本看護研究学会第40回学術集会 奈良県文化会館 2014.8.24 田中共子
  21. 在台湾日本人留学生・もと留学生における対人行動上の困難と対処—台湾人ホストとの交流のためのソーシャルスキルへの示唆— 第19回留学生教育学会研究大会 東北大学 2014.8.9 陳暁青・田中共子・中野祥子
  22. 高齢者における加齢への適応的受容: 健常者と虚弱者にみる加齢変化への認知的対処 アジア未来会議 Inna Grand Beach Hotel and Udaya University, Indonesia, 2014.8.22-24, Kaori Hatanaka

- and Tomoko Tanaka
23. Interpretations by Chinese college students of distinctively Chinese traits potentially leading to cross-cultural conflict: Toward a comparative study with Japanese youth. 28th International Congress of Applied Psychology, Palais des congres de Paris, Paris, France, 2014.7.11, Yuri Okunishi and Yomoko Tanaka
  24. Symposium ICAP2014-SP1643:Health Psychology "Positive Health and the culture of medicine: From crisis to a flourishing profession and population" Recognition of "eating gaps" among international students in Japan: Implications for cross-cultural eating education from a health psychological perspective. 28th International Congress of Applied Psychology, Palais des congres de Paris, Paris, France, 2014.7.10, Tomoko Tanaka and Ai Takahama
  25. Difference in transferred information from senior to junior nurses in a virtual medical scene: patient safety education by gaming simulation. 28th International Congress of Applied Psychology, Palais des congres de Paris, Paris, France, 2014.7.12, Yoshimi Hyodo, Tomoko Tanaka, Nari Yoshizawa and Emiko Yamamoto
  26. 欧米出身在日留学生の食における文化変容に関する探索的研究 異文化間教育学会第35回大会 同志社女子大学 2014.6.8 中野祥子・田中共子・高濱愛
  27. 異文化間教育の導入的エクササイズとし

ての認知地図 異文化間教育学会第35回大会 同志社女子大学 2014.6.8 田中共子

その他（翻訳、事典項目、書評等）

1. 司会 一般公開シンポジウム・健康心理学を活かす！—実践例に学ぶ健康づくりの理論と方法— 日本健康心理学会第27回大会 沖縄科学技術大学院大学 2014, 11.2 田中共子
2. 指定討論 国際会議における健康心理学研究の動向—日本健康心理学会国際委員会によるYoung Health Psychologist国際化推進活動— 日本健康心理学会第27回大会 沖縄科学技術大学院大学 2014.11.1 田中共子
3. 企画代表者・司会 健康心理学の最前線1—日本への健康心理学の導入と禁煙・発達分野における実践の展開— 日本心理学会第78回大会 同志社大学 2014.9.12 田中共子

## 出村 和彦

### 研究発表

1. Death and the Cross in Augustine of Hippo, Asia Pacific Early Christian Studies Society, The 9th International Conference, 2014年9月5日、東洋英和女学院大学(横浜校地)
2. Recent Studies on Origen and Augustine, A Patristic Seminar, 2014年8月14日、Macquarie University Sydney.
3. 「西洋古典とキリスト教にとっての老年」、科研費基盤B「ケアの現場と人文学研究との協働による新たな〈老年学〉の構築」第1回研究会、2014年11月16日、東北



大学史料館

4. Old Age in Early Christianity. A perspective from the JSPS project on neo-gerontology, Planning Meeting for Agency and Power in Early Christian Social and Church Issues, 2015年3月6日、Australian Catholic University Brisbane.

その他（翻訳、事典項目、書評等）

1. 「書評：Sarah Catherine Byers, Perception, Sensibility, and Moral Motivation in Augustine: A Stoic-Platonic Synthesis, Pp. xviii+248, New York, Cambridge UP 2013」, 『西洋古典学研究』、日本西洋古典学会編、岩波書店、63号、2015年3月、147-149ページ
2. 「宮本久雄先生の教父学」, 『パトリスティカー教父研究』第18号、教父研究会編、教友社、2015年3月、148-150ページ

中谷 文美

著書

1. 単著『オランダ流ワーク・ライフ・バランス——「人生のラッシュアワー」を生き抜く人々の技法』世界思想社、2015年1月、全248頁。

論文

1. 「バリ島農村の結婚事情」『アジア研ワールド・トレンド』226号、2014年8月、14-17頁。
2. " Dressing Miss World with Balinese brocades : The "Fashionalization" and "Heritagization" of handwoven textiles in Indonesia" *Textile: Journal of Cloth and Culture*, Vol.13, No.1, 2015, pp30-49.

研究発表

1. " Fashionalization and heritagization of hand-woven textiles in Bali, Indonesia" International Roundtable on "Cloth, Culture and Development", 25 August 2014, Chaing Mai University, Thailand
2. 「ミス・ワールドが紋織で装うとき——バリ島産手織り布のファッション化・文化遺産化をめぐる」国立民族学博物館共同研究「文化の表象のポリテクス」研究会報告、2014年10月12日、岡山大学
3. 「家事の文化～オランダの事例から」共同研究「生活用品から見たライフスタイルの近代化とその国別差異の研究」招待報告、2014年12月13日、国立民族学博物館

その他（翻訳、事典項目、書評等）

1. 「家族・家内領域」『世界民族百科事典』国立民族学博物館編、丸善出版、654-655頁、2014年7月。
2. 「男女共同参画って何のため?誰のため?」岡山市男女共同参画情報誌『DUO』第30号、2015年3月、2-3頁

中谷 ひとみ

論文

1. 「超富豪転じて極貧の生き直しと身体スーパー・リッチのロマンティシズム—Don DeLillo, *Underworld* (1997) と *Cosmopolis* (2003) をめぐって」、『岡山大学文学部紀要』第61号、2014年7月、35-45頁
2. 「語りえない物語は語り続けねばならぬ—Paul Auster, *Leviathan* (1992) の3リヴァイアサン人の語り手たちはいかに巨大な幻獣と闘ったか」、『岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要』第38号、2014年11月、17-35頁

3. 「ゲームをせんとや生まれけむ、<sup>あそび</sup>翻弄ばれんとや生まれけむ—Paul Auster, *Liviathan* (1992) の3人の語り手たちの遊び方／遊ばれ方」、『岡山大学文学部紀要』第62号、2014年12月、73-87頁
4. 「死の恐怖の乗り越え、物語の乗り換え—Don DeLillo, *White Noise* (1985) のポストモダン世界と自己形成」、『文化共生学研究』第14号、2015年3月、71-87頁

#### 研究発表

1. 「Don DeLillo, *Cosmopolis* (2003) と『暴力』—グローバル化と高度テクノロジー時代における身体性を手がかりに」、日本英文学会中国四国支部第67回大会、2014年10月25日、香川大学

### 萩原 直幸

#### 論文

1. 「市原豊太訳『オーベルマン』の訳文について」、『岡山大学文学部紀要』、第61号、2014年7月、47-59頁
2. 「岩波文庫の検閲と『オーベルマン』の削除をめぐる」、日本フランス語フランス文学会中国・四国支部編『フランス文学』、第30号、2015年3月、25-43頁

### 藤井 和佐

#### その他（翻訳、事典項目、書評等）

1. 「地域社会の男女共同参画～成熟した暮らしのために～」兵庫県・(公財)兵庫県人権啓発協会編・発行『ひょうご人権ジャーナル きずな』2014年6月号、2014年5月、4頁
2. 「『高齢化しているから』こそ地域づくり」岡山県県民生活部県民生活交通課編・発行『岡山県コミュニティ広報誌 生

き活きネット』2014年秋号、2014年10月、1-2頁

3. 講演：「農村社会における女性リーダー～地域が変わる・地域を変える～」、2014年度第6回男女共同参画セミナー（兵庫県立男女共同参画センター・イーブン）、2014年8月7日、兵庫県立男女共同参画センター
4. 講演：「農村社会における女性リーダーのリクルートメント」2014年10月18日、稲美町男女共同参画セミナー（兵庫県稲美町教育委員会人権教育課）

### 宮崎 和人

#### 論文

1. 「認識的モダリティーの研究をめぐる」、『岡山大学文学部プロジェクト研究報告書22 言語とコミュニケーション』、2014年7月、79-105頁
2. 「ポテンシャルな可能・アクチュアルな可能と認識的な可能性」、『岡山大学文学部紀要』62号、2014年12月、51-61頁

#### 研究発表

1. 「シンポジウムを開催するにあたって」、日本語文法学会第15回大会シンポジウム「品詞論の現代的意義」、2014年11月22日、大阪大学
2. 「構文論研究としての「おしはかり」」、奥田靖雄著作集刊行記念・国際シンポジウム、2015年3月7日、大阪大学

#### その他（翻訳、事典項目、書評等）

1. 『日本語文法事典』（大修館書店、2014年7月）の項目執筆（カ、推量、ムード）
2. 『日本語大事典』（朝倉書店、2014年11月）の項目執筆（確認要求、構文論、終止形、主語、主述関係、証拠性、叙述、推量表

現、日本語文法・形態論、副詞、ムード、命題、モダリティ、連体形)

## 本村 昌文

### 論文

1. 林羅山の死別体験、東北大学日本思想史研究室+富樫進編『カミと人と死者』、岩田書院、2015年3月、143頁～165頁

### 研究発表

1. 介護・看取り・近世の死生観、日本文芸研究会第66回総会・研究発表大会、招待発表、2014年6月14日、東北大学
2. 日本における「老年学」研究、国際シンポジウム「多文化視野の中の日本学」、2014年9月20日、中国・山東大学
3. 新たな〈老年学〉への日本思想史研究からのアプローチ、科研費・基盤B「ケアの現場と人文学研究との協働による新たな〈老年学〉の構築」第1回研究会、2014年11月16日、東北大学

## 遊佐 徹

### 論文

1. 岡山の写真師、山本讃七郎と近代中国の写真文化、『学術、文化、芸術、教育活動に関する研究論叢』（両備裡園記念財団）27、2014年9月、1～23ページ
2. フィンガーボウルと李鴻章(2)、『岡山大学文学部紀要』62、2014年12月、63～72ページ
3. 漢服・唐装・チャイナドレス1、『岡山大学文学部プロジェクト研究報告書22 古典・古代・伝統の発見／創造における表象観念と文化』、2015年3月、1～6ページ

その他（翻訳、事典項目、書評等）

1. 宵のサロン第3回「墨の庭——五つの場と景 長谷川等伯の禅機図襖絵の空間構築」コメンテーター、於岡山大学鹿田キャンパスJホール、4月16日

## 吉田 浩

### 研究発表

1. 「歴史学からみた北方領土問題」、日本科学者会議例会、2014年1月20日、岡山大学
2. 「帝政ロシア貴族の美食文化」、ヨーロッパ文化総合研究所講演会、2014年2月22日 東北学院大学

その他（翻訳、事典項目、書評等）

1. 「2013年大会参加記」、『ロシア史研究会ニューズレター』No.92、2014年1月、6-7頁